2.1 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

②高効率ショーケース更新による食品ロス削減と競争力の向上の両立

丸大大金畜産株式会社（北海道札幌市／商業）

【HP】https://www.o-gane.co.jp/ 【備考】代表申請者 北海道リース株式会社（北海道札幌市／リース会社）

赤文字：該当箇所 | 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業
補助事業の概要	中小企業等がリースで脱炭素機器を導入する際、指定リース事業者※によるESG要素を考慮した取組やサプライチェーン上の脱炭素化に資する取組が基準を満たしている場合、脱炭素機器の種類に応じて総リース料の1～6%を指定リース事業者に対して助成を行い、補助率に応じた総リース料の減免を行う。 ※ 指定リース事業者とはリース先の選定に対してESGの要素を考慮する体制を整えているなどの一定要件を満たし、本事業において補助事業者から補助金を受ける事が出来るリース事業者のこと。
実施目的	本事業では、バリューチェーン全体での脱炭素化に貢献する中小企業等における設備投資への支援や、リース会社によるESG要素を考慮した取組の促進を通じて、バリューチェーン全体での企業における脱炭素化の取組推進を目指すものである。
交付対象	民間事業者・団体（指定リース事業者）
補助率	① 国から民間団体への補助：定額 ② 民間団体から指定リース事業者への補助：1～6% 補助上限： 1リース契約の補助金の対象となる脱炭素機器部分のリース料の総額が、65万円以上、2億円以内

②高効率ショーケース更新による食品ロス削減と競争力の向上の両立

事業の概要

補助金額	補助金額	約7万円
	補助率	5%
導入設備	従前設備	ショーケース
	導入設備	高効率ショーケース
事業期間	稼働日	2024年7月
備考	導入台数	1台



高効率ショーケース

事業の効果

エネルギーコスト※
▲約18.5（万円／年）

CO_2削減効果
約4（t-CO_2／年）

投資回収年数
7.4（年）→ 7.0（年）

CO_2削減コスト
0.3（万円／t-CO_2）

副次的効果

- **旧設備はモーター音が大きかったが、更新設備は静かになった。**
- **扉が無かった旧設備は冷凍効率が悪く、夏場は商品が溶けて廃棄や電気代増加の問題があったが、更新設備ではそれらが解消された。**

※ エネルギーコストは、電力単価：22.7円／kWh（出典：電気事業連合会HP）を用いて試算したものである。

事業者の声

大金畜産

大金 知一｜大金畜産株式会社　常務取締役

この制度をリース会社からの紹介で知り活用させて頂きましたが、今後機械の入れ替え時期などで利用したいと思いました。
以前の冷凍ケースより冷凍効果が良くなり、廃棄ロスも減り電気代も減少しました。